

第40回全国都市緑化仙台フェア基本計画 概要版

1 全国都市緑化フェアについて

全国都市緑化フェアは、都市緑化の意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、もって緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として開催するものです。また、期間中には中心的行事として「全国都市緑化祭」が開催され、皇室のご臨席を賜ることが通例となっています。

仙台市では、平成元(1989)年度に七北田公園で「'89グリーンフェアせんだい」を開催しました。

開催自治体	第7回 平成元年度 (1989)	第36回 令和元年度 (2019)	第37回 令和2年度 (2020)	第38回 令和3年度 (2021)	第39回 令和4年度 (2022)
	仙台市	長野県・ほか4市	広島県・広島市 ほか22市町	熊本市	北海道・恵庭市



第7回'89グリーンフェアせんだい



第36回信州フェア



第37回ひろしまフェア

2 第40回全国都市緑化仙台フェアの開催について

仙台フェアの開催される令和5年は、杜の都の緑豊かな都市環境の形成に大きな役割を果たした「杜の都の環境をつくる条例」の制定から50周年の節目の年となります。

以下のとおり、本市において緑化フェアを開催する意義を整理し、次に掲げる開催テーマや基本方針のもと、仙台フェアを実施します。

開催意義

1. 次世代へと続く新たな「百年の杜づくり」
2. みどりと親しむ生活と新たな交流の創出
3. 東日本大震災からのみどりの復興と防災のまちづくりの発信

テーマ

杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く

基本方針

1. 杜の都のみどりの可能性を発信するフェア
2. 杜の都のみどりを体感するフェア
3. 次世代の担い手を育むフェア
4. みどりと花に囲まれたライフスタイルを生み出すフェア
5. みどりを通じて人がつながり、まちが賑わうフェア

4 性の高い教育を みんなに	6 安全な水とトイレ を世界中に
9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	11 住み続けられる まちづくりを
12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を
14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう
17 パートナーシップで 目標を達成しよう	

3 基本的事項

名 称	第40回全国都市緑化仙台フェア
愛 称	未来の杜せんだい2023 ～Feel green!～
主 催 者 等	主催者：仙台市、公益財団法人都市緑化機構 事業主体：第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会
開 催 期 間	令和5(2023)年4月26日(水)～6月18日(日)(54日間)
目 標 入 場 者 数	メイン会場、まちなかエリア会場、東部エリア会場の合計で、100万人の入場を目標とします。
入 場 方 式	メイン会場への入場は無料とし、一部有料のプログラムやコンテンツを実施します。
事 業 費	概ね16億円とします。

4 会場計画

仙台フェア開催の意義、開催テーマ、基本方針等を踏まえ、エリアごとのコンセプトを定めながら会場を設定します。

	<p>都心部の新たな緑のネットワーク拠点となるエリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 青葉山公園追廻地区 杜の都のみどりある暮らしを楽しむ、にぎわいのエリア ■ 西公園南側地区 杜の都の風景や自然に親しみ、みどりと遊ぶエリア ■ 広瀬川 広瀬川の新たな魅力に出会うエリア
メイン会場	
まちなかエリア会場	<p>都心部に回遊性を創出し、フェアの盛り上がりをも街全体に波及させる取り組みを進めるエリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 仙台駅ペDESTリアンデッキ ■ 宮城野通 ■ 青葉通 ■ 定禅寺通
東部エリア会場	<p>震災の記憶の継承、みどりの復興の発信や、自然に触れながら家族で楽しめる事業展開を図るエリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ せんだい農業園芸センター みどりの杜 ■ 海岸公園 ■ せんだい3.11メモリアル交流館 ■ 高砂中央公園(仙台うみの杜水族館) ■ 震災遺構仙台市立荒浜小学校
連携会場	<ul style="list-style-type: none"> ■ 仙台市八木山動物公園 ■ 仙台市野草園 ■ 東北大学 学術資源研究公開センター 植物園 など

メイン会場ゾーニングプラン

青葉山公園追廻地区 会場

アーバンフォレストゾーン

みどりあふれるパブリックスペースをイメージした空間演出を行い、杜の都・仙台のまちなかのみどりで憩うライフスタイルを発信

もりの庭園ゾーン

- 青葉山の自然を感じさせる庭園や、造園の伝統の技や知恵を継承・発信する日本庭園
- 庭園内に整備する雨水貯留機能などを持つ「雨庭(あめにわ)」から、グリーンインフラの多様な機能や効果を発信



ウェルカムゾーン

メインゲートを仙台フェアのはじめりにふさわしく花で修景し、ウェルカムガーデンやフォトジェニックスポットで来場者を歓迎



グリーンスクエアゾーン

広大な芝生広場で自由に憩うことができる会場とし、芝生での憩いと賑わいをつなげるイベントを展開

広瀬川地区 会場

河原に一面に広がる花畑により、広瀬川の新たな魅力を創出



西公園南側地区 会場

グリーンアクティビティゾーン

遊びながら自然を体感できるプログラムや、植物観察などをテーマとしたワークショップの開催等を通じて、親子で自然の大切さを学ぶことができる会場



水辺のテラスゾーン

仙台城跡のある青葉山、大橋、広瀬川を一望できる、花やみどりに囲まれたガーデンテラス



人が輝くグリーンライフゾーン

造園団体・企業が伝統の匠の技をつくした庭園や全国の自治体による花壇、市民活動団体等の作品展示



大花壇ゾーン

仙台城本丸から眼下一面に広がる、美しい色のグラデーションが楽しめる大花壇



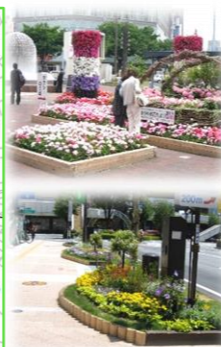
杜のリビングガーデンゾーン

- 庭園の花やみどりを、仙台の気候風土の中で培われてきた“イグネ(居久根)”になぞらえ、自然と暮らしが調和するこれからのライフスタイルとして提案
- みどりや花があふれる庭園と飲食や休憩ができるスペースの配置を工夫した、自然を感じながらくつろげるリビングガーデン



まちなかエリア会場

場所	展開イメージ
仙台駅ペデストリアンデッキ	ウェルカムガーデンや花の修景植栽によるおもてなしの演出
青葉通 宮城野通	街のにぎわいに彩りを添えるプランター修景、花壇設置
定禅寺通	ケヤキ並木や花に囲まれた憩いの空間整備、花壇設置



東部エリア会場

場所	展開イメージ
せんだい農業園芸センター みどりの杜	<ul style="list-style-type: none"> 季節を感じる花修景 子ども向けの体験プログラム
せんだい3.11メモリアル交流館 震災遺構仙台市立荒浜小学校	<ul style="list-style-type: none"> 震災特別企画展示
海岸公園	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加による育樹プログラム 震災からのみどりの復興パネル展示
高砂中央公園 (仙台うみの杜水族館)	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加による植樹プログラム 新しい公園を体験できるイベント

5 事業計画

- 観客誘致**
 - 仙台の豊かな自然環境の魅力を体感できる仙台フェアのPRやキャンペーンを展開するとともに、首都圏・関東地方及び東北地方を県外からの集客エリアとし、観光資源の魅力と合わせて発信するなど、効果的な集客事業を展開します。
- 広報宣伝**
 - 準備段階から積極的な情報発信を行い、開幕までの機運を高めるとともに、集客エリア、ターゲットに対応する媒体を活用し、効果的な広報宣伝を実施します。
- 飲食**
 - 会場のみどりや花の演出を活かした、豊かなみどりの中で楽しく食を堪能できる空間づくりとします。
- 物販**
 - 地場の食材や郷土料理等を取り入れたメニューを提供します。
 - みどりや花にちなんだグッズや花卉などの販売をします。
- 協働推進**
 - 子どもたちをはじめとした市民が花壇づくりや育樹活動などの花と緑に触れる体験を通じ、自然を学んだり緑化活動の楽しさを体感できる場とし、新たな担い手の育成につなげます。
 - フェアへの積極的な参加と協働により、フェア開催後の新たな緑の活動やコミュニティ形成などのレガシーへとつなげます。



フォトジェニックスポットの設置



みどりのある空間で寛ぎある食体験の提供



子どもたちや市民との会場づくり

6 事業スケジュール

	R2 (2020) 年度	R3 (2021) 年度	R4 (2022) 年度	開催年 R5 (2023) 年度	
事業計画	基本構想	基本計画	実施計画	会場運営・開催準備	仙台フェア 撤去
	大臣同意・開催決定		会場設計	会場整備	
実行体制		★ 実行委員会 設立・総会	★ 総会	★ 総会	★ 実行委員会 解散

令和3年度事業計画（案）

1 実施計画等の策定

（1）基本設計及び実施設計、修景等実施計画の策定

- 会場の諸施設や植栽修景などの設定条件などについて検討し、事業スケジュールの設定、基本設計図や実施設計図の作成に取り組みます。
- 調達する植物のリストの作成や施工・管理に関する計画などを策定します。

（2）観客誘致・広報宣伝等実施計画の策定

- フェアへの観客誘致に関する基本戦略や、開催期間前・期間中の具体的な誘客プロモーションの手法について検討します。
- 印刷物やマスメディア、屋外広告物の活用など、効果的な広報宣伝の実現に向けた計画を立案します。
- 各会場において開催するイベントの企画や室内展示・出展などについて、具体的な検討に取り組みます。
- 会場内における物販・飲食ブースの出店について、実施体制やスケジュールを検討するほか、出店エリアの調整などを行います。

（3）会場運営等実施計画の策定

- 会場の運営体制や総合案内所の機能、会場サービスやボランティアの参画のあり方などについて検討を進めます。
- 造園団体や企業による庭園や花壇、市民活動団体等による作品など、屋内外における出展について、実施スキームの検討や出展区画の調整等を行います。
- 市民参画による花壇の施工・管理の手法や小中学校との連携等について検討します。

2 広報宣伝の実施

（1）広報ツールの制作・配布

- フェアの開催機運の醸成を図るため、チラシやポスターを制作し、仙台市の市民利用施設等にて配布します。

（2）公式ウェブサイトの構築・運営

- 実行委員会公式ウェブサイトを構築し、フェアに関する最新の情報を発信します。

令和3年度収支予算（案）

収支予算

収入金額 94,846,000円

支出金額 94,846,000円

差 引 0円

【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	主な内容
負 担 金	94,846,000	・ 仙台市負担金
合 計	94,846,000	

【支 出】

(単位：円)

項 目	細 目	金 額	主な内容
総 務 費	総務費	1,016,000	・ 事務局の運営経費
事 業 費	計画策定費	88,781,000	・ 基本設計及び実施設計、修景等実施計画策定 ・ 観客誘致・広報宣伝等実施計画策定 ・ 会場運営等実施計画策定
	広報宣伝費	5,049,000	・ 広報ツール作成・配布、公式ウェブサイト構築・運営
合 計		94,846,000	



未来の杜せんだい2023 ～ Feel green! ～

人々の想いとアクションで育てる「未来の杜」を、
「1本の大樹」として表現。

現在まで繋がれてきた豊かな仙台の杜を、次世代の新たな杜へ繋いでいきたいという「想い」。
自然を支え、成長を見守るために人々が手を取り合い、協力し合うという「アクション」。
この2つのキーワードを「ハート」と「人の手」として表現し、
「新たなみどりを舞台に輝く人」を未来の軸（幹）として「1本の大樹」に見立てることで、
これから育てていく「未来の杜」の姿へとシンボライズしています。
木々や花の色を思わせる鮮やかなグラデーションは、「成長」「復興」「発展」等の“変化”の象徴であり、
潤いのあるまちづくりへの様々な取り組みを表しています。
ロゴタイプはマークの意図との調和を意識した、可読性の高いシンプルな表現としました。

Concept image



“みどりを舞台に人が輝く”未来の杜づくり